準備

プリントしよう

いろいろなプリント

エラーについて

使用説明書・保証書

en: The owner's manual of English and French is available at "http://home.fujifilm.com/products/dmp."

fr: Le manuel d'utilisation en Anglais et en Français est disponible sur le site "http://home.fujifilm.com/products/dmp."

Printed in China

BB19169-100 FPT-608104-CH-01

Piviサイトのご案内

携帯電話からもパソコンからも

http://pivi.jp

バーコード読み取り機能が搭載された携帯電話をお持ちの方は、このコードを読み込むだけでサイトへアクセスできます。

1 ユーザー登録の受付※1

本製品をご購入された方のユーザー登録※2をお願いいたします。
詳しくは「http://pivi.jp」をご覧ください。

※1 ユーザー登録の受付は、携帯電話からのケータイサイトのみでの登録になります。

2 最新の対応機種の確認

本製品が対応している携帯電話の機種や、赤外線通信可能な主な機器をご確認いただけます。
パソコンでは、各機種ごとの赤外線通信可能な最大画像サイズもご確認いただけます。

※ 携帯電話の機種によって赤外線送信可能なサイズが異なるため、大きなサイズの画像を送信できない場合があります。

3 Pivi についての情報満載

Piviの便利な活用法やPiviに関するタイムリーなニュースを掲載。ケータイサイトでは、Piviをより楽しくお使いいただくためのコンテンツがダウンロードできるなど、楽しいサービスがいっぱいです。

※2　個人情報の取り扱いについて

お客様の登録情報は、今後の商品・サービスの開発および改良のために統計目的で使用いたします。これ以外の目的では使用いたしません。
登録時にご同意いただいたお客様に対しては、アンケートおよび商品・サービスのご案内を差し上げる場合がございます。

主な特長

モバイルプリンター「MP-300」は、デジタルカメラやカメラ付き携帯電話の撮影画像をどこでも簡単にプリントアウトできる、持ち運びに便利なコンパクトサイズのプリンターです。

1.デジタルカメラやカメラ付き携帯電話から、どこでも簡単にプリントアウトができます

デジタルカメラやカメラ付き携帯電話の画像データを、パソコンを経由せずダイレクトで簡単にプリントアウトすることができます。

- 手帳サイズなのでどこへでも気軽に持ち運びができます
- PictBridge対応（→28ページ）
  PictBridge対応のデジタルカメラやカメラ付き携帯電話からUSBケーブルでダイレクトに接続して、プリントアウトしたい画像データを送信することができます。
- 高速赤外線通信に対応（→24ページ）
  高速赤外線通信規格（IrSimple/FIR）に対応している※デジタルカメラやカメラ付き携帯電話から、プリントアウトしたい画像データをダイレクトに素早く送信することができます。
  ※従来の赤外線通信規格（IrDA）にも対応しています。
- 小型一次電池使用で充電不要（→18ページ）
  一次電池（CR-2 2本）使用で約100枚のプリントが楽しめます（赤外線通信の場合）。
  更に別売「ACパワーアダプター AC-5VX」をお買い求めいただくと、AC電源を使用することができます(→19ページ)。

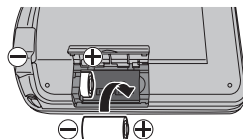
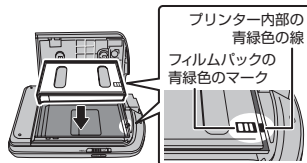
2.更にプリントを楽しく、美しく

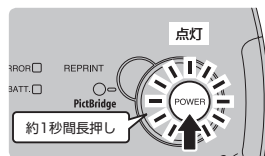
- 焼き増しプリントができます（→36ページ）
  REPRINTボタンを押すだけで、最後にプリントアウトした画像データを何枚でも焼き増しすることができます。
- 日付入りプリントができます（→39ページ）
  デジタルカメラやカメラ付き携帯電話で撮影した日付をプリント画面に入れることができます。
- よりシャープな画像に強調できます（→38ページ）
  SHARPENボタンを押すだけで、よりクッキリとしたプリントを楽しむことができます。
- 当社独自の超高画質デジタル画像処理ソフトウェア「Image Intelligence™」搭載
  「Image Intelligence™」は「撮影および被写体条件を自動的に解析し、用途・媒体にあった最適画像を表現する」超高画質デジタル画像ソフトウェア技術です。Piviには「プリントに合った最適画像を表現する」技術が搭載されています。
- Pivi専用フィルム「フジフイルム instax digital film」を使用
  Piviのために開発された専用フィルムを使用するので、高画質プリントが楽しめます。カードサイズで保存にも便利です。

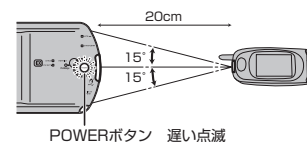
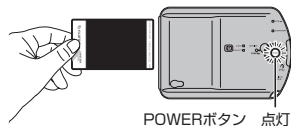
目次

クイックスタート～赤外線通信～

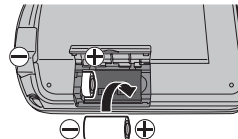
1 電池を入れる

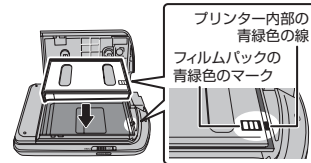
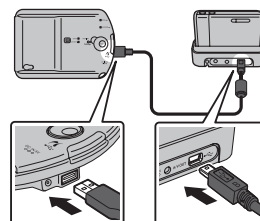
(→21ページ)

2 フィルムパックを入れる

(→22ページ)

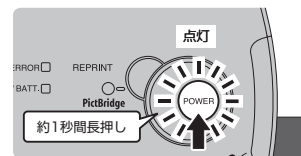
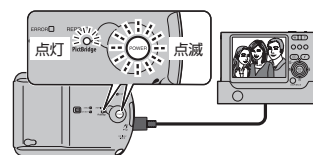
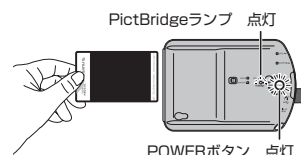
3 電源をONにする

4 画像を送信する

(→24ページ)

5 送り出しが終わったらフィルムを取り出す (→25ページ)

クイックスタート～PictBridge～

1 電池を入れる

(→21ページ)

2 フィルムパックを入れる

(→22ページ)

3 プリンターとデジタルカメラを接続する※ (→28ページ)

※接続前にデジタルカメラのUSB設定をPictBridgeにしてください。

4 電源をONにする

5 デジタルカメラから画像を送信する (→29ページ)

6 送り出しが終わったらフィルムを取り出す (→25ページ)

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルム「MOBILE PRINTER MP-300」の使い方がまとめられています。
内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

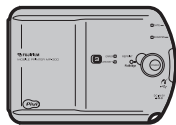
プリンターの目的

このプリンターは、PictBridge機能搭載および赤外線通信可能なカメラ付き携帯電話やデジタルカメラなどで撮影した静止画像を、インスタントフィルムにプリントするものです。

同梱しているもの

1, リチウム電池
CR2　2 本
（→18ページ）

2, 使用説明書・保証書（本書）

3, プリンター本体

- IrSimple™やIrSimpleShot™、IrSS™はInfrared Data Association®の商標です。
- 「Image Intelligence」「Image Intelligence™」は富士写真フイルム（株）の商標です。
- その他、社名や団体名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™や®マークは明記していない場合があります。

IrSimple™について

■ IrSimple™とは

赤外線技術の標準化団体であるIrDA®（Infrared Data Association®）により、2005年8月に国際標準規格として規格化された、高速データ転送を可能にする高速赤外線通信プロトコルです。
物理的インターフェース（SIR ／ FIR）は既存のIrDAと同一で、以下の2種類の通信方式があります。

- 片方向通信（Uni-Directional）
送信機（1次局）側からのみ片方向でデータを送信する通信方式です。通信中の不具合は訂正できません。
- 双方向通信（Bi-Directional）
送信機（1次局）側から送信されるデータに対して、受信機（2次局）側がその受信結果の返答や再送要求などを行う双方向の通信方式です。通信中の不具合を訂正できます。

■ IrSimpleShot™（IrSS™）とは

IrSimple片方向通信（Uni-Directional）に適用される呼称です。

■ MP-300のIrSimple™対応

MP-300は、IrSimpleShot通信および双方向通信（Bi-Directional）の両通信方式に対応しています。

■ MP-300のIrSimple™での制限事項

- 受信機（2次局）としてのみ動作します。
- 高速赤外線通信機能（FIR）を搭載している送信機からのみ、IrSimpleShot通信ができます（SIRでのIrSimpleShot通信には対応していません）。
- 高速赤外線通信機能（FIR）を搭載している送信機からのFIRでのIrSimpleShot通信では、1MBまでのデータを受信する事ができます（1MBを超えるデータは受信できません）。
ただし、上記条件を満たしている送信機でも、送信条件（送信パケットサイズなど）によっては、受信できない場合もあります。

■ IrSimple™の通信速度

- 27ページの「画像サイズと通信時間の目安」をご覧ください。

安全にご使用いただくために

- 本製品および付属品は、プリント以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警　告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 警　告

	プリンター（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出し、ACパワーアダプターを抜いてください。 発火ややけどの原因となります。（電池を取り出す際やACパワーアダプターを抜く際、やけどには十分ご注意ください）。
	プリンターを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池やACアダプターを外し、電源プラグを抜いてください。 発熱・発火の原因となります。
	引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの近くでプリンターを使用しないでください。 爆発や発火・やけどの原因となります。
	プリンターは乳幼児の手の届かないところに置いてください。

 警　告

	赤外線ポートを目に向けないでください。 目に影響を与える原因となります。
	電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。 破裂の原因となります。
	指定以外の電池を使わないでください。 発熱・発火の原因となります。
	電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。 乳幼児が誤って飲み込む原因となります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。
	指定の専用ACパワーアダプター以外は使わないでください。 発熱・発火の原因となります。

 注　意

	絶対に分解しないでください。 けがの原因となることがあります。
	落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。 けがの原因となることがあります。
	フィルムパックドア内側の突起物には触れないでください。 けがの原因となることがあります。
	プリンターをぬれた手で触らないでください。 感電の原因となることがあります。

注意	**新しい電池と古い電池、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。** また、電池の⊕ ⊖を誤って装てんしないでください。電池の破裂・液もれにより、発火やけが・周囲を汚損する原因となることがあります。
	旅行などで長期間、プリンターをご使用にならないときは、電池やACパワーアダプターを外し、電源プラグを抜いてください。 火災の原因となることがあります。
	ACパワーアダプアターを接続したままプリンターを移動しないでください。 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

取扱上のお願い

■プリンターの取り扱い

1. プリンターは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
3. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
4. フィルム室に汚れやほこりがあると、プリントの仕上がりに影響します。フィルム室に汚れやほこりがつかないようにご注意ください。
5. 閉めきった自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. ナフタリンなど防虫剤のガスは、プリンターにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このプリンターはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにプリンターが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
8. このプリンターの使用温度範囲は+5℃から+40℃です。
9. 不要になった電池を一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火や環境破壊の原因となることがあります。
10. 航空機内や病院の中でのプリンターのご使用はおやめください。航空機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。
11. ラジオやテレビの受信障害となっている場合は、本機をラジオやテレビから離してください。
12. 赤外線通信でプリントする際は、ご使用になる送信側の機器の使用説明書をお読みの上、使用環境条件などを守って正しくお使いください。
13. プリントされる場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。

■USB通信の取り扱い

1. デジタルカメラ・カメラ付き携帯電話の機種専用USBケーブルを使用してください。
2. USBケーブルは、長さ3m以内のものをご使用ください。

■ACパワーアダプターの取り扱い

ACパワーアダプターをご使用になる場合は、必ず専用のフジフイルムACパワーアダプター AC-5VX（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお買い求めください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとプリンターが故障する原因となることがあります。

1. 室内専用です。
2. プリンターのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
3. プリンターのDC入力端子から接続コードを抜き差しするときは、プリンターの電源を切って、プラグを持って行ってください（コードを引っ張らないでください）。
4. ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
5. 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
6. 分解したりしないでください。危険です。
7. 高温多湿のところでは使用しないでください。
8. 落としたり、強いショックを与えないでください。
9. 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
10. ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

■フィルム・プリントの取り扱い

1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に閉めきった自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. プリンターに入れたフィルムは、できるだけ早くプリントしてください。
3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでからプリントしてください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをおすすめします（詳しくは各空港でご確認ください）。
6. プリントは強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

外から入った異物やフィルムからもれた液によってプリンター内部が汚れた場合、プリントにスジが発生した場合は、富士フイルムサービスステーションにご相談ください。（→57ページ）

フィルムや出来上がったプリントについて

■プリントの仕上がり

- +5℃から+40℃の温度でご使用できますが、よりよい画像を得るためには+15℃から+30℃の範囲でのご使用をおすすめいたします。
- 気温が低い場合は、すぐに上着のゆったりしたポケットの中などで約30秒間温めてください。
- 極端に熱いところに置かないでください（熱い砂やコンクリートの上、ストーブの近くなど）。

振らない

曲げない

折らない

画面内を手で押さえない

- 送り出された直後のプリントは、画像が安定するまで直射日光を避けてください。また、プリントを振る、曲げる、折る、押さえる、こするなどしないでください。

■ ☒ 注意

このフィルムの内部には、黒色の腐食性（高アルカリ性）の液が含まれています。プリント後、約10分間でアルカリ性は弱まりますが、プリントやフィルムを扱うときは、次のことを守ってください。

口に入れない
（特に乳幼児やペットにはご注意ください）

切らない

引きはがさない

穴を開けない

万一、この液が皮膚や衣服などについたときは、速やかに水で充分洗ってください。また、目や口に入った場合はただちに多量の水で充分洗った後、医師の診察を受けてください。

あらかじめご了承ください

1. 本機は、送信側の機器で撮影された静止画像データをプリントすることを基本に作られています（メディアや通信を使って送信側の機器間でやりとりされた静止画像については、プリントできない場合があります）。
   また、ダウンロードしたコンテンツや画像データなどは、セキュリティー設定のためにプリントできない場合があります。
2. アドレス帳やスケジュールなど、画像以外のデータはプリントできません。
3. 送信側の機種によっては、赤外線送信に制限があるため、大きなサイズの画像を送信できない場合があります。
4. 送信側の機種によっては、記録画素数と赤外線送信できる画素数が異なります。
5. 送信側の機種によっては、小さな画像サイズに変換されて送信される場合があります。
6. 送信側の機種によっては、メモリーカードからの赤外線送信はできない場合があります。
7. 画像サイズによっては、プリントの仕上がり（シャープネス、粗さなど）やプリント時間に影響します。
8. ファイルサイズや送信側の機種などにより、通信に時間がかかる場合があります。
9. 送信側の機種や撮影条件により、プリントの仕上がり（色味、画質など）に影響します。
10. プリントの仕上がりは、送信側の液晶画面の見え方と異なる場合があります。
11. 送信側の機種によっては、画面での画像方向とプリントした時の画像方向が異なる場合があります。
12. プロトコル（通信規約）や画像形式などの違いにより通信できない機器もあります。
13. Progressive JPEGには対応していません。

使用するもの

使用する電池

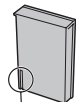
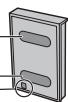
リチウム電池
フジフイルムリチウム　CR2　2本

- 2本とも、新しい同じ銘柄・種類のものを使用してください。
- 新しい電池で、赤外線通信のみ使用時は約100枚※・USB通信のみ使用時には約70枚※のプリントができます（当社試験条件による）。

※ 画像サイズ（ファイル容量）や使用温度その他により、プリントできる枚数は異なります。

使用するフィルム

フジフイルム instax digital film（Pivi専用フィルム）をご使用ください。

- 他のフィルムやinstax mini film（チェキ用フィルム）はご使用になれません。
- フィルムパックには10枚のフィルムが収納されています。

便利に楽しくお使いいただくために

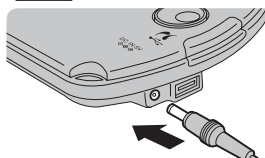
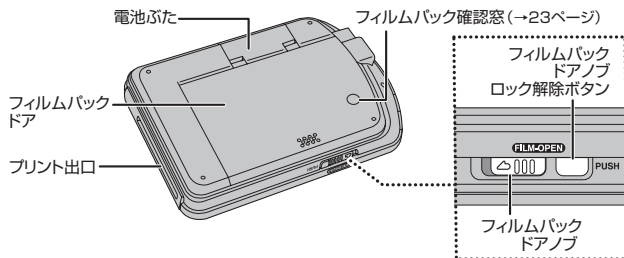
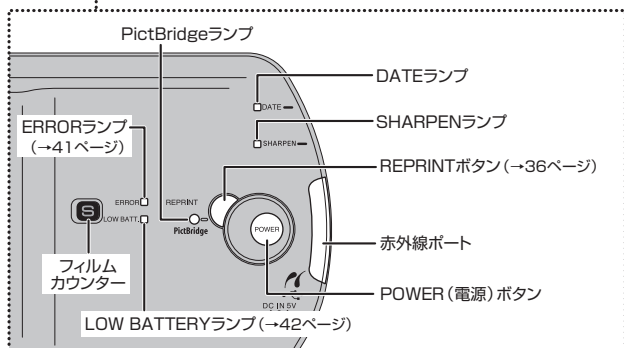
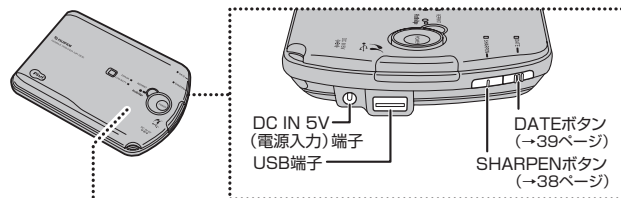
別売ACパワーアダプター

（→14ページ）

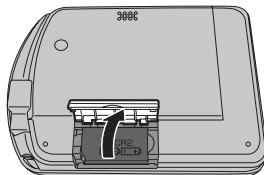
※メーカー希望小売価格
4,200円（税込み）

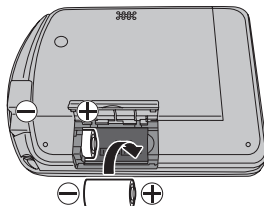
使い方

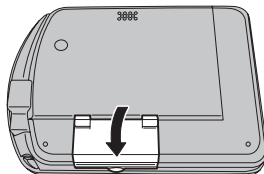
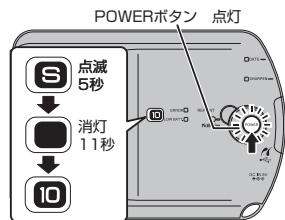
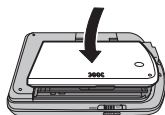
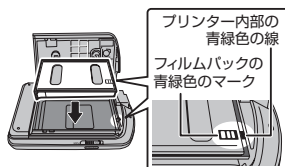
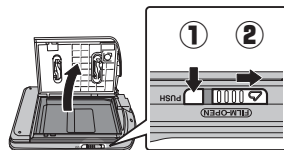
ACパワーアダプター　AC-5VX
（AC100～240V、50/60Hz対応）

- デジタルカメラからUSB通信する場合におすすめします。

各部の名称

プリントの準備

電池を入れます

1 電池ぶたを開けます

2 電池を入れます

電池は⊕⊖の方向を電池室内の表示に合わせて入れます。
マイナス（⊖）方向から差し込んでください。

3 電池ぶたを閉めます

カチッと音がするまで押してください。

フィルムパックを入れます

1 フィルムパックドアを開けます

ボタン①を押しながら、ノブ②を矢印の方向へスライドさせます。

2 フィルムパックを入れます

フィルムパックの側面を持ち、まっすぐ落とし込むように入れます。

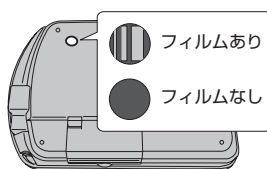
3 フィルムパックドアを閉めます

カチッと音がするまで押してください。

4 電源をONにします

POWERボタンを長押し（約1秒間）します。

- フィルムパックを入れて最初に電源を入れたときは、モーターが動いてプリンター内部でプリントの準備をします。準備中も赤外線通信することができます。
- POWERボタンが点灯し、フィルムカウンターに"10"が点灯したら、プリント準備完了です。

フィルムパック確認窓

フィルムパックがプリンターに入っているかどうかを確認できます。

◆フィルムパックの取り扱いについて◆

フィルムは光やほこりに敏感です。フィルムパックの中のフィルムに光が当たると、感光して正しいプリントができなくなります。また、フィルムパックの中やプリンターの中にほこりが入ると、フィルムに傷がついて正しいプリントができなくなります。以下のことを守って正しくお使いください。

光にご注意ください

- フィルムパックを入れるときは、直射日光を避けて行ってください。
- 使用前のフィルムパックは背面2カ所の長方形の穴を絶対に押さないでください。
- フィルムパックドアを途中で閉めるのを止めたり、完全に閉まる前に開け閉めすると、フィルムが感光する恐れがあります。

ほこりにご注意ください

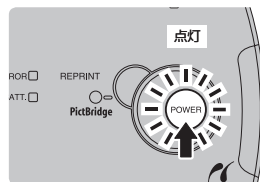
- フィルムパックを入れるときは、ほこりが多い場所を避けて行ってください。
- フィルムパックはプリンターに入れる直前に袋から取り出し、すぐにプリンターへ入れてください。

プリントしよう～赤外線通信～

赤外線送信準備

送信側でプリントする画像を選択します

(→26ページ)

プリント

1 電源をONにします

POWERボタンを長押し（約1秒間）します。

- POWERボタンが点灯します。
- 電源を入れたまま放置すると、自動的に電源が切れます（電池のみ使用時は約3分後、ACパワーアダプター使用時は約10分後）。

フィルムカウンターでフィルムが残っていることを確認します。

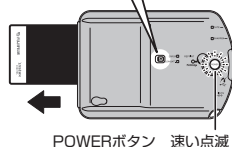
2 赤外線ポートを合わせます

送信側の赤外線ポートをプリンターの赤外線ポートの正面に向けます。（→27ページ）

- 画像送受信範囲は、上下左右各15˚で20cm以内です。

POWERボタン　遅い点滅

3 送信側から画像を赤外線で送ります

- 画像の通信中はPOWERボタンが遅い点滅を繰り返します。
- 携帯電話の赤外線送信方法は、26ページをご覧ください。

POWERボタン　速い点滅

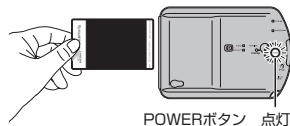
受信後約20秒でフィルムが送り出されます

- プリント中は、POWERボタンが速い点滅を繰り返します。
- 画像書き込み時間は、赤外線受信後VGAサイズ（当社標準画像の場合）で約20秒です。
- VGAサイズ以上では、20秒以上かかる場合があります。

POWERボタン　点灯

4 送り出しが終わったらフィルムを取り出します

POWERボタンが点灯に変わったら、フィルムを取り出します。

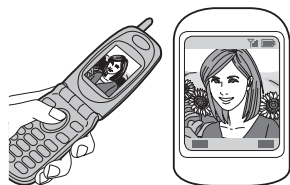
- POWERボタンが点灯に変わると、次の画像を送信することができます。

デジタルカメラと接続（PictBridge ランプが点灯）しているときは、赤外線通信によるプリントはできません。赤外線通信でプリントするときは、USB ケーブルを抜いてください。

2 赤外線ポートを合わせるときのご注意

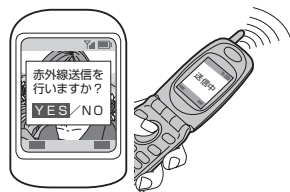
- 送信側の機器とプリンターの間には何も置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や蛍光灯の直下では、正しく通信できない場合があります。
- テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くでは、正しく通信できない場合があります。
- 画像の通信が終わるまで、送信側の赤外線ポートをプリンターの赤外線ポートに向けたままにして動かさないでください。

4 フィルムを取り出すときのご注意

- フィルム送り出しが終了するまでは、絶対にフィルムを引き抜かないでください。
- フィルムの先端を持って、フィルムを曲げないようにまっすぐ取り出してください。
- フィルムは必ず1枚ごとに取り出してください。

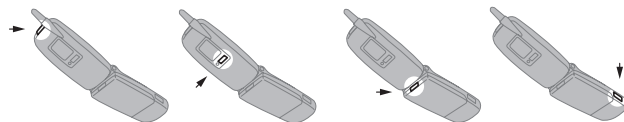
携帯電話で画像を送信するには

1 携帯電話で画像を選択します

● 画像を大きく表示すると送信できない機種もあります。その場合は、一覧表示やサムネイル表示へ戻ってから赤外線送信を選択してください。

2 赤外線送信を選択します

3 送信確認（はい／ YES）で送信を開始します

※携帯電話の画面は一例です。

● 携帯電話の「赤外線ポート位置」「操作方法」「画面表示名称」などは、機種によって異なります。お手持ちの携帯電話の使用説明書をご覧ください。
● 携帯電話からの画像送信方法については、お手持ちの携帯電話の使用説明書をご覧ください。また、携帯電話による画像送信の操作方法などに関するご質問は「PIサポートセンター（→56ページ）」へお問い合わせください。

携帯電話の赤外線ポート位置例

画像サイズと通信時間の目安

本製品は、IrDAの高速通信（IrSimple ／ FIR）に対応しています。対応機器から送信すると通信速度が速くなり、通信時間が短くなります。

	高速赤外線（IrSimple ／ FIR）		赤外線（IrDA ／ SIR）
	片方向通信	双方向通信	
VGA（640×480）	約0.3秒	約0.3秒	約19秒
1M（1280×960）	約1.3秒	約1.4秒	約1分15秒
3M（2048×1536）	約1.7秒	約1.8秒	約1分40秒
5M（2592×1944）	―（※）	約4.7秒	約2分40秒

※ 通常の画像では1MBのファイルサイズを超えるため、プリントできません。
● 時間は目安であり、送信機（1次局）側の能力により変わります。
● 通信時間は、ファイルサイズや送信側の機種によっても異なります。
● ファイルサイズの大きな画像を送信した場合は、通信時間が長くなることがあります。

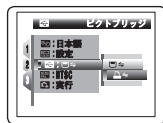
◆おすすめの送信画像サイズ◆

データ通信時間と画質のバランスから、VGAサイズ（640×480）での撮影をおすすめします。

●送信側の機種によっては、VGAサイズでの撮影や赤外線送信ができない場合があります。

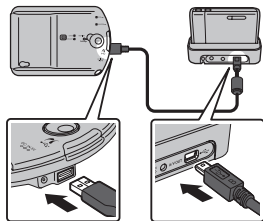
● 送信側（デジタルカメラやパソコン・PDAなど）の赤外線ポート位置や画像送信方法については、送信側の機器の使用説明書をご覧ください。

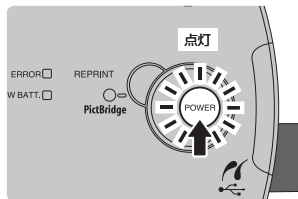
プリントしよう〜PictBridge〜

USB送信準備

デジタルカメラのUSB設定をPictBridgeにします

● デジタルカメラの操作方法は、機種によって異なります。

プリンターとデジタルカメラをつなぎます

● 正しく接続されると、PictBridgeランプが点灯します。
● デジタルカメラに付属しているUSBケーブルをご使用ください。延長ケーブルやUSBハブは使用できません。
● USB端子の位置は、デジタルカメラによって異なります。

デジタルカメラの機種によっては、ここでデジタルカメラの電源をOFF にします。送信方法は機種によって異なりますので、お手持ちのデジタルカメラの使用説明書をご確認ください。

プリント

1 電源をONにします

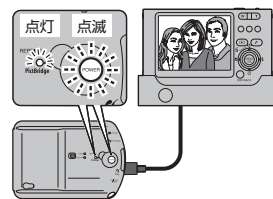
POWERボタンを長押し（約1秒間）します。

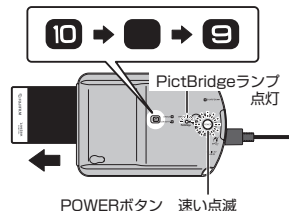
● POWERボタンが点灯します。
● 電源を入れたまま放置すると、自動的に電源がOFFになります（電池のみ使用時は約3分後、ACパワーアダプター使用時は約10分後）。

フィルムカウンターでフィルムが残っていることを確認します。

デジタルカメラの機種によっては、ここでデジタルカメラの電源を ON にします。お手持ちのデジタルカメラの使用説明書をご確認ください。

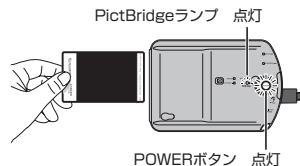
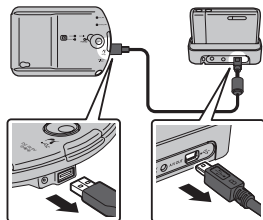
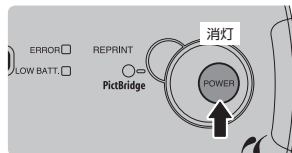
2 デジタルカメラ側でプリントを実行します

● 画像の通信中はPOWERボタンが遅い点滅を繰り返します。
● 画像の送信方法などデジタルカメラの操作方法は、デジタルカメラの使用説明書をご覧ください。
● 複数枚プリント指定した場合は、31ページをご覧ください。

受信後約20秒でフィルムが送り出されます

● プリント中は、POWERボタンが速い点滅を繰り返します。
● 画像書き込み時間は、画像データ受信後VGAサイズ（当社標準画像の場合）で約20秒です。
● VGAサイズ以上では、20秒以上かかる場合があります。

3 送り出しが終わったらフィルムを取り出します

POWERボタンが点灯に変わったら、フィルムを取り出します。

● POWERボタンが点灯に変わると、次の画像を送信することができます。
● “フィルムを取り出すときのご注意”をご確認ください。（→25ページ）

次のページへつづく

4 デジタルカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを抜きます

5 プリンターの電源をOFFにします

● ACパワーアダプターをお使いの場合は、プリンターの電源をOFFにしてからアダプターを抜きます。

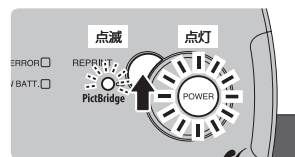
◆**おすすめ**◆

USB 通信でプリントされる場合は、電源に AC パワーアダプター（別売 AC パワーアダプター AC-5VX）を使用することをおすすめします。（→ 19 ページ）

● プリントが終了するまで、USBケーブルやACパワーアダプターを抜き差ししたり、電源をOFFにしないでください。

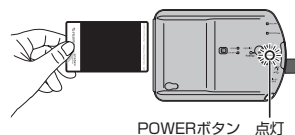
● デジタルカメラのUSB端子位置や画像送信方法・操作方法は、機種によって異なります。お手持ちのカメラの使用説明書をご覧ください。

カメラ側で2枚以上指定した場合は

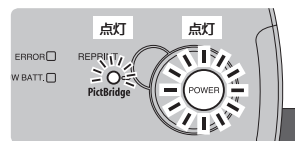
2 枚以上指定した場合は、1 枚目のプリントが終了後、フィルムを取り出してから以下の操作を行ってください。

1 POWERボタンが点灯し、PictBridgeランプが点滅していることを確認します

2 REPRINTボタンを押します

● PictBridgeランプが点滅しているときは、REPRINTボタンを押すと次の予約画像をプリントします。

POWERボタン　点灯

3 送り出しが終わったらフィルムを取り出します

● 指定枚数の途中でフィルムが0枚になった場合は、「指定枚数プリントの途中でフィルムが終わったら」をご覧ください。（→35ページ）

すべてのプリントが終了するまで、***1*** ～ ***3*** を繰り返します。

指定した枚数すべてをプリントし終わると、PictBridgeランプが点灯に変わります

● すべてのプリントが終了するまで、USBケーブルやACパワーアダプターを抜き差ししたり、デジタルカメラの電源をOFFにしないでください。

PictBridgeプリント指定対応表

対応するプリント指定	補足
複数画像の指定枚数プリント	選択した画像の中に処理できない画像があった場合には、その時点でプリントが終了します。途中からのプリント再開はできません。
日付、ファイル名プリント	12文字以内の英数字と記号に対応しています。
DPOFで指定した画像の自動プリント	指定した枚数を最後までプリントし終わる前にUSBケーブルを抜いた場合には、その時点でプリントが終了します。途中からのプリント再開はできません。
トリミング指定した画像のプリント	指定された画像範囲をプリントします。
インデックスプリント	1枚のフィルムに4コマずつプリントしていきます。なお、指定した画像の中に非対応画像や壊れた画像が含まれている場合には、正しくプリントできません。
レイアウトプリント プリントは切らないでください。	1コマ、2コマ、4コマに対応しています。なお、指定した画像の中に非対応画像や壊れた画像が含まれている場合には、正しくプリントできません。

● デジタルカメラの機種によって、搭載しているプリント指定機能の種類は異なります。

画像サイズと通信時間の目安

主な画像サイズ(ピクセル)	USB通信時間
VGA(640×480)	約7秒
1M(1280×960)	約13秒
3M(2048×1536)	約23秒
5M(2592×1944)	約32秒

画像サイズによりUSB通信時間が異なります。

● 通信時間は、ファイルサイズや送信側の機種によっても異なります。

● ファイルサイズの大きな画像を送信した場合は、通信時間が長くなることがあります。

プリントについてのお知らせとご注意

受信可能な画像サイズ・画像形式

画像サイズ	形式
60×60〜6400×6400(ピクセル)	JPEG

ファイルサイズの大きい画像を送信したときは、プリント開始までに時間がかかる場合があります。

プリントの例外

画像サイズにより、プリントに余白が出る場合があります。

120×120の場合

画像の縦横比により、画像の一部がプリントされない場合があります。

288×352の場合

◆プリント中の注意◆

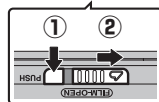
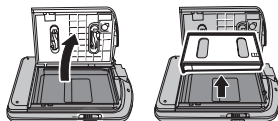
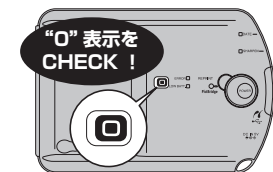
途中で引っ張る！

振る！

衝撃！

ふさぐ！

- 送り出し途中のプリントには、絶対に触らないでください。
- プリント中は本機を振ったり、衝撃や振動を与えないでください。
- プリント出口を指や物でふさがないでください。
- プリント出口から10cm以内には障害物がないようにしてください。

フィルムが終わったら

1 フィルムカウンターが “0” になっていることを確認します

フィルムがなくなると、POWERボタンが消灯し、フィルムカウンターに “0” が表示されます。

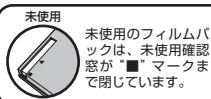
- 新しい画像を送る、またはPOWERボタンやREPRINTボタンを押すたびに、フィルムカウンターが点滅（5回）してフィルムがなくなったことをお知らせします。

2 フィルムパックを取り出します

◆フィルムパック交換時のご注意◆

未使用

未使用のフィルムパックは、未使用確認窓が “■” マークまで閉じています。

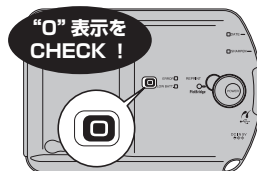
使用済

使用済みフィルムパックは、未使用確認窓が “▲” マークまで開いています。

途中交換はできません。フィルムが残っている状態では、絶対にフィルムパックドアを開けないでください。

- フィルムが感光する恐れがあります。
- フィルムパックを取り出した場合、フィルムカウンターがリセットされ、正しいプリント可能枚数が表示されません。

使用済みのフィルムパックを誤って入れないよう、ご注意ください。

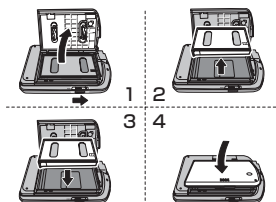
- フィルム交換時には、必ずフィルムパックの未使用確認窓をご確認ください。
- 誤って使用済みフィルムパックを入れた場合でも、プリンターは通常の動作をしますが、プリントは出てきません。

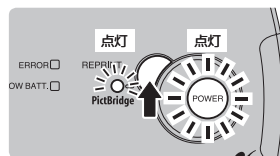
指定枚数プリントの途中でフィルムが終わったら

1 フィルムカウンターが “0” になっていることを確認します

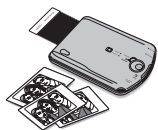
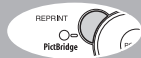
指定枚数プリントの途中でフィルムがなくなると、POWERボタンとPictBridgeランプが速い点滅を繰り返し、フィルムカウンターに “0” が表示されます。

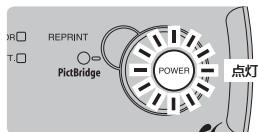
2 新しいフィルムパックに交換します

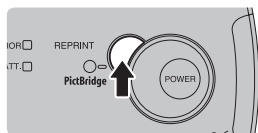
（→22ページ）

- 電源はONのままにしてください。

3 指定枚数プリントを再開します

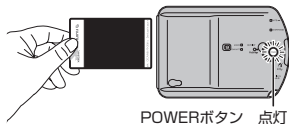
POWERボタンとPictBridgeランプが点灯したら、REPRINTボタンを押します。

- 指定枚数プリントの途中でフィルム交換するときは、電源ONのままで行ってください。途中でプリンターの電源がOFFになるとデジタルカメラ側のプリント設定が解除されます。

もう一枚プリント

REPRINTボタンを押すだけで、最後にプリントした画像を何枚でもプリントできます。

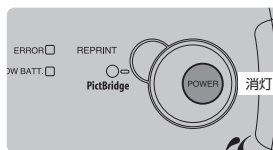
- 電源を切っても、最後にプリントした画像を記憶しています。
- 新しい画像を受信すると、記憶している画像は書き換わります。
- 「USB通信」では使用できません。

1 電源がONになっていることを確認します

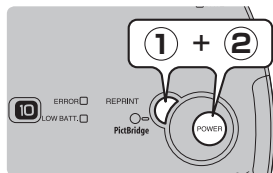
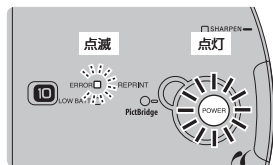
- 電源がOFFになっているときは、電源をONにしてください。

2 REPRINTボタンを押します

- 記憶している画像がないときは、ERRORランプが点滅（3回）します。（→41ページ）

3 送り出しが終わったらフィルムを取り出します

- デジタルカメラと接続（PictBridgeランプが点灯）しているときは、もう一枚プリント機能は使用できません。USBケーブルを抜いて、PictBridgeランプを消灯させてからご使用ください。
- 本機能を使って多数枚続けてプリントすると、色味が少し変わる場合があります。

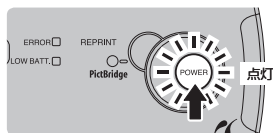
記憶している画像の消去

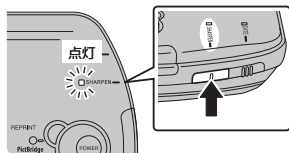
電源OFFの状態で、REPRINTボタンを押しながら電源を入れてください。記憶している画像が消去されます。

1 電源がOFFになっていることを確認します

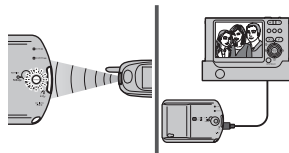
- 電源がONになっているときは、電源をOFFにしてください。
- 電源OFFのときにはすべてのランプが消灯しています。

2 REPRINTボタンを押しながらPOWERボタンを押します

POWERボタンが点灯し、ERRORランプが1回点滅したら、消去完了です。

シャープンモード

よりクッキリとプリントします。

- 「赤外線通信」、「USB通信」、「もう一枚プリント」で使用できます。

1 電源をONにします

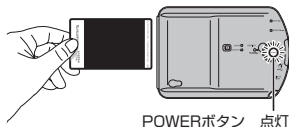
- POWERボタンが点灯します。
- USB通信のときは、PictBridgeランプも点灯します。

2 SHARPENボタンを押します

- SHARPENランプが点灯します。
- SHARPENボタンを押すたびに、シャープンモードがON/OFFします。
- SHARPENランプが点灯しているときだけシャープン処理します。

3 画像を送信します

もう一枚プリントのときは、REPRINTボタンを押します。

- 画像を受信すると、シャープン処理を開始します（約10秒間）。

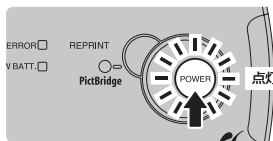
4 送り出しが終わったらフィルムを取り出します

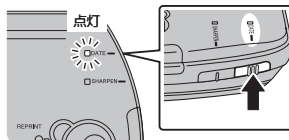
- 電源をOFFにすると、シャープンモードは解除されます。

- 送信した画像によっては、適切な効果が出ない場合があります。
(例)プリントがざらついて見える。人工的に見える。

日付モード

日付を入れてプリントします。

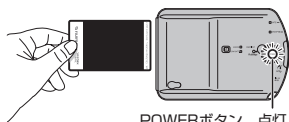
- 「赤外線通信」、「もう一枚プリント」で使用できます。

赤外線通信、もう一枚プリントのとき

1 電源をONにします

- POWERボタンが点灯します。

2 DATEボタンを押します

- DATEランプが点灯します。
- DATEボタンを押すたびに、日付モードがON/OFFします。
- DATEランプが点灯しているときだけ日付をプリントします。

3 画像を送信します

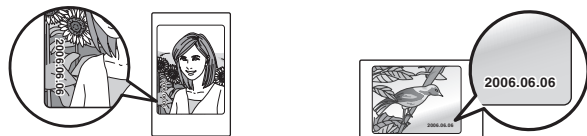
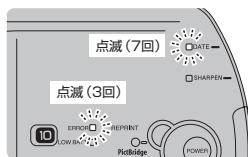
もう一枚プリントのときは、REPRINTボタンを押します。

4 送り出しが終わったらフィルムを取り出します

- 電源をOFFにすると、日付モードは解除されます。

PictBridgeのとき

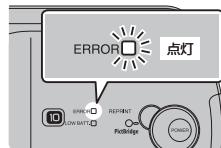
デジタルカメラ側で設定します。

- デジタルカメラの設定方法は、お手持ちのカメラの使用説明書をご覧ください。

日付のプリント位置

◆日付情報のない画像を送信したときは◆

日付モードに設定して、“日付情報を持たない画像”や“EXIF以外の日付情報を持つ画像”を送信した場合には、ERRORランプ（3回）とDATEランプ（7回）が同時に点滅し、プリントが出てきません。日付モードの設定を解除してからもう一度送信するか、または、違う画像を送信してください。

- プリントされる日付は、送信されたデータに含まれている日付です。
- 画像を加工した場合（撮影後にフレームを合成するなど）は、画像の日付記録が書き換わる場合があります。
- 日付モードはEXIF形式に対応しています。
- 背景によっては、プリントされた日付が見えにくくなる場合があります。日付の色は変更できません。
- 携帯電話側で加えられた日付情報は、適切にプリントされないことがあります。

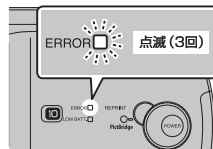
エラーについて～ERRORランプ～

点灯（7秒間→電源OFF）

使用温度が低すぎる、または高すぎます

+5℃から+40℃の範囲内で使用してください。

◆ERRORランプが点灯したときは◆

以下のようにすると、使用できるようになります。
《使用温度が低すぎる場合》
本体を10分間くらい体温などで温めてください。
《使用温度が高すぎる場合》
本体を涼しい場所に持っていってください。

点滅（3回）

原因1. 送信したデータがプリンターに対応していません

画像サイズまたは画像形式を確認してください。（→9・33ページ）

- Progressive JPEGを送信した場合は、POWERボタンも点滅することがあります。

原因2. “もう一枚プリント”に必要な記憶画像がありません

画像を送信してください。

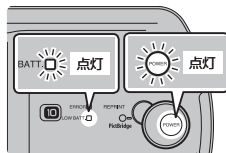
日付モードエラー

「日付情報のない画像を送信したときは」をご覧ください。（→40ページ）

PictBridge通信エラー

「USB通信中このようなときは」をご覧ください。（→46ページ）

エラーについて～LOW BATTERYランプ～

点灯

電池容量がもうすぐ不足します

新しい電池を準備してください。(→18ページ)

原因1. 電池容量が不足しています

新しい電池に交換してください。(→21ページ)

- 電池を交換するときは、電源をOFFにしてから行ってください。
- プリンターの動作中(モーターが動いている状態)は電池を交換しないでください。誤作動の原因となる場合があります。

原因2. 指定以外のACパワーアダプターを使用しています

「フジフイルムACパワーアダプター AC-5VX」をご使用ください。(→14・19ページ)

原因3. ACパワーアダプターが故障している可能性があります

ACパワーアダプターの使用説明書をご確認ください。

点滅

プリンターが故障している可能性があります

富士フイルムサービスステーションにご相談ください。(→57ページ)

このようなときは…

下記項目を点検しても直らない場合は、弊社問い合わせ先にご相談ください。(→56ページ)

■プリンターがこのようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
フィルムパックが入らない、またはスムーズに入らない。	① プリントしようとしているフィルムパックがこのプリンターに適合しない。 ② 入れ方が正しくない。	① フジフイルム instax digital film(Pivi専用フィルム)を使用します(他のフィルムは使用できません)。(→18ページ) ② フィルムパックの青緑色のマークとプリンターの位置合わせマーク(青緑色)を合わせて入れます。(→22ページ)
POWERボタンを押したがランプもカウンターも点灯しない。	① 電池が消耗している。 ② 電池の入れ方が間違っている。 ③ POWERボタンを押している時間が短かった。 ④ ACパワーアダプターが正しく接続されていない。	① 新しい電池に交換してください。(→18ページ) ② 電池を正しく入れてください。(→21ページ) ③ POWERボタンが点灯するまで、POWERボタンを長押し(約1秒間)してください。 ④-1 プリンターと正しく接続してください。 ④-2 電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
送信側の機器から送信したが、プリンターと通信しない(POWERボタンも点灯していない)。	① 電源ONのまま何も操作しないで放置していた(電池のみ使用時は約3分間、ACパワーアダプター使用時は約10分間)。 ② フィルムカウンターが“0”になっている。	① POWERボタンを押して、電源を入れてください。 ② フィルムパックを取り出し、新しいフィルムパックを入れてください。(→34ページ)
送信は完了したがフィルムが出てこない。	① フィルムパックが入っていない。 ② フィルム交換時に誤って使用済みフィルムパックを入れてしまった。 ③ 対応していない画像やテキストデータを送信した。	① 新しいフィルムパックを入れてください。(→22ページ) ② 新しいフィルムパックを入れてください。(→22ページ) ③ プリント可能な画像フォーマットで送信してください。(→33ページ)
エラーランプが点灯(約7秒間)した後、電源が切れた。	極端に寒い、または暑い外気によりプリンター本体の温度が使用範囲(+5℃〜+40℃)から外れた。	プリンター本体を体温などで温める、または涼しい場所に置いてください。プリンター本体の温度が使用範囲内になると、エラーが解除され使用できます。(→41ページ)

■赤外線通信中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
赤外線送信したが、プリンターと通信しない(POWERボタンが遅い点滅を始めない)。	① ご使用の携帯電話が本製品に対応していない。 ② 携帯電話の赤外線ポートがプリンターの赤外線ポートの方向に向いていない。 ③ 角度･距離･障害物などにより、正しく通信できなかった。 ④ 赤外線通信に何らかの障害が生じた。	① 携帯電話をご使用の場合は、下記URLから対応携帯電話機種をご確認ください。http://pivi.jp(携帯電話・パソコンから) ② お手持ちの携帯電話の赤外線ポート位置をご確認の上、正しい画像送受信範囲で再度送信してください。(→27ページ) ③ 正しい画像送受信範囲をご確認の上、再度送信してください。(→24ページ) ④ 電源を一度OFFにして、再度電源を入れ直してください。
通信途中でPOWERボタンが点滅から点灯に変わり、フィルムが出てこない。	① 携帯電話との通信が一定時間中断された(角度･距離･障害物などにより正しく通信できなかった)。 ② テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器により影響を受けた。	① 正しい画像送受信範囲をご確認の上、再度送信してください。(→24ページ) ② 他の赤外線通信機器の影響を受けない場所で操作してください。

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
通信途中でPOWERボタンが点滅から点灯に変わり、フィルムが出てこない。	③ ご使用の携帯電話が本製品に対応していない。	③ 携帯電話をご使用の場合は、下記URLから対応携帯電話機種をご確認ください。http://pivi.jp（携帯電話・パソコンから）

■USB通信中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
デジタルカメラにプリントメニューが出てこない。	① デジタルカメラがPictBridge対応機種でない。 ② デジタルカメラのUSB設定がPictBridgeになっていない。 ③ USBケーブルが正しく接続されていない。	① PictBridge対応のデジタルカメラをご使用ください。 ② デジタルカメラのUSB設定をPictBridgeにしてください。 ③ USBケーブルの接続を確認してください。
PictBridgeランプが点灯しない。	USBケーブルが正しく接続されていない。	USBケーブルの接続を確認してください。
なかなかプリントが始まらない（POWERボタンが速い点滅を始めない）。	画像が大きく、デジタルカメラからの受信に時間がかかっている。	通信時間を短くするには、小さい画像サイズでの撮影・送信をおすすめします。（→32ページ）
通信途中でPOWERボタンが点滅から点灯に変わり、フィルムが出てこない。	対応していない機器から送信した。	通信可能な機器から送信してください。

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
カメラ側にエラーが出る。	① USB通信に何らかの障害が生じた。 ② プリンターの電源が入っていない。 ③ フィルムが終わった。	① デジタルカメラとプリンターの電源を入れ直してください。 ② プリンターの電源を入れてください。 ③ フィルムパックを交換してください。
エラーランプが点滅（3回）した。	① 通信中にエラーが発生した。 ② 送信した画像が対応最大画像サイズを超えている。	① 画像をもう一度送信してください。 ② 対応最大画像サイズは、「6400×6400ピクセル」です。
1枚ずつ複数回送信したときに、2枚目以降がプリントされない（PictBridgeランプが点滅している）。	送信する間隔が5秒以内だった。	① REPRINTボタンを押してください。 ② 1枚ずつ送信するときは、5秒以上間隔を空けてください。

■出来上がったプリントがこのようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
出来上がったプリントの隅が暗い。	フィルムを使い切る前にフィルムパックドアを開けたので、フィルムが感光した。	新しいフィルムパックを入れてください。（→22ページ）
画面にむらがある。	① 取り出したプリントにすぐ圧力が掛かった。 ② プリントがスムーズに送り出されなかった。	① プリントを振る、曲げる、折る、押さえる、こするなどしないでください。（→16ページ） ② フィルム出口をふさがないでください。（→33ページ）

用語の解説

DPOF： Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）の略称で、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマットです。デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報を記録するときの形式です。

EXIF： 電子情報技術産業協会（JEITA）で承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。主画像情報の他に、撮影日時や圧縮モードといった撮影時の様々な付属情報を含んでいます。

JPEG： 画像圧縮の標準化を推進している組織の名称（Joint Photographic Experts Group）の略で、そこで標準化された「カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式」です。色データを間引くことで圧縮し、圧縮率が高くなるほど伸長(画像の復元)したときの画質は劣化します。

PictBridge： プリンターとデジタルカメラを直接接続して、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンを使わずにプリントできる標準規格です。

ピクセル： デジタル画像の大きさを表す単位です。デジタル画像は点をたくさん並べて一枚の画像を表現しています。その画像を構成する点（画素）を最小単位としたものです。

画像サイズ： 画像を構成する点（画素）の数によって、画像の大きさを「縦×横」の数値で表したものです。単位にはピクセルを使います。

ファイルサイズ： 画像を構成する点（画素）の総量です。単位にはキロバイト（KB）やメガバイト（MB）を使います。

主な仕様

使用フィルム	フジフイルム instax digital film（Pivi専用フィルム）
プリント画面サイズ	61×46mm（フィルムサイズ　86×54mm）
表示	フィルムカウンター（残数表示） 電源（POWERボタン） ERRORランプ LOW BATTERYランプ SHARPENランプ DATEランプ PictBridgeランプ
操作ボタン	POWERボタン（電源） REPRINTボタン（最後の画像を再プリント） SHARPENボタン（SHARPENモード/画像補正） DATEボタン（DATEモード/日付プリント）
インターフェース	IrDA（IrSimple/FIR、SIR） USB（PictBridge）
記録方式	液晶シャッターによる3色（RGB）LED露光方式
プリント階調	RGB各色256階調
プリント可能 画像フォーマット	JPEG
プリント可能 画像サイズ	60×60〜6400×6400ピクセル
プリント可能 最大データ容量	IrDA（FIR、SIR/IrSimpleのBi-Directionalモード）およびUSB：制限なし IrDA（FIRでのIrSimpleShot）：1Mbyteまで（※）
画像補正機能	Image Intelligence™ SHARPENモード
画像書き込み時間	画像データ受信完了後、書き込みから送り出しまで約20秒（標準VGA画像使用時）
プリント可能枚数	赤外線通信のみ使用時：約100枚（当社試験条件による） PictBridge通信のみ使用時：約70枚（当社試験条件による）
電源	リチウム電池CR2　2本 ACパワーアダプター（別売：AC-5VX）
消費電力	3.0W（プリント時）
オートパワーオフ時間	電源に電池使用時：3分 電源にACパワーアダプター使用時：10分
動作温度	＋5℃〜＋40℃（結露のないこと）
大きさ	146×102×29mm
本体質量 （電池・フィルム別）	225g

※SIRでのIrSimpleShotは、非対応。

●仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

—Mobile Printing Ready "モバイルプリント対応" 製品について—

この "モバイルプリント対応" 製品は、携帯電話からのプリントをより容易にすることを目的に、Mobile Imaging and Printing Consortium (MIPC)の設計ガイドラインVer.2.0(PictBridge, IrDA)に沿って設計されています。

MIPC (Mobile Imaging and Printing Consortium)とは
主要な携帯電話とプリンターのメーカーにより、2004年に設立された非営利団体です。設立の主な目的は、携帯電話からプリンターに画像やその他のコンテンツをプリントする場合の互換性を実現するための設計ガイドラインを提案することです。このガイドラインは携帯電話ユーザー向けの多様な製品やサービスに対して、グローバルに普及しています。ホームページ：www.mobileprinting.org

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お買上げ店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証・使い方などのご不明な点につきましても、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。（→57ページ）

● 無料修理

故障した製品についてはお買上げ日・お買上げ店名の記入された、お買上げ日より1年以内の保証書が添付されている場合には、製品保証規定に記載されている内容の範囲内で無料修理させていただきます。

＊詳しくは、製品保証規定をご覧ください。（→58ページ）

● 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にお買上げ日、お買上げ店名が記入されていない場合、または記載事項が改ざんされた場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、プリンター内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

● 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間

本製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはお買上げ店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. お買上げ店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは7,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、お買上げ時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。

7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、富士フイルムサービスステーションでお預かりしてから通常7〜10日位をご予定ください。

● 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、持ち帰った後、国内の富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

問い合わせ先

本製品のお問い合わせ先

PIサポートセンター
TEL 042-481-1697

固定の一般電話からはこちらもご利用いただけます。
ナビダイヤル **0570-00-1080**

＊全国どこからでも市内通話料金でかけることができます。
＊携帯電話、PHSなどからはご利用いただけません。

受付時間：月曜日～金曜日　午前9:00～午後5:40
（土日祝祭日、年末年始、夏期休暇を除く）

●**本製品の関連情報については、下記サイトをご覧ください。**

携帯電話からもパソコンからも ------------ http://pivi.jp

●**富士フイルム製品のお問い合わせ先**

お客様コミュニケーションセンター ----- TEL（03）3406-2981
（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）

修理の受付窓口

札　幌 富士フイルムサービスステーション TEL（011）222-3973 〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	**名古屋** 富士フイルムサービスステーション TEL（052）202-1851 〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19
仙　台 富士フイルムサービスステーション TEL（022）265-2149 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	**大　阪** 富士フイルムサービスステーション TEL（06）6260-0915 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル
東　京 富士フイルムサービスステーション TEL（03）3436-1315 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	**福　岡** 富士フイルムサービスステーション TEL（092）281-4863 〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。
その他夏期等休業させていただく場合があります。

●東京、大阪、名古屋：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始以外）は午前10：00～午後5：00の間で営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。

製品保証規定

1. 保証の内容

ご購入後1年以内に万一本製品が故障したときは、本説明書の裏表紙にある保証書を添えて、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けください。無料で修理いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、お買上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましては、通常の輸送方法と異なる方法をとった場合(定期便以外を使用した場合)は一部ご負担いただく場合があります。

2. 次の場合は保証期間内でも、上記1. の保証規定は適用されません(修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします)。

イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。

ロ. 保証書にお買上げ日、お買上げ店名が記入されていない場合、または記載事項を改ざんされた場合。

ハ. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。

ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。

ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、プリンター内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。

ヘ. 本体に付帯している付属品類および消耗品(電池類など)。

ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。

チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害(プリントに要した諸費用、プリントによって得るであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。

4. 本保証書は、日本国内に限り有効です。

- 本保証書は、前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これにより弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本保証書の表示についてご不明な点は、弊社問い合わせ先へご相談ください。
- 弊社の修理完了品には弊社の修理伝票が添付されております。修理の内容は、修理品お受け取りの際、修理報告書などでご確認ください。
- 本保証書は紛失されても再発行いたしません。

富士写真フイルム株式会社